

◆ 各区だより ◆

名東区

のめいとう

体育事業部は 健康長寿の担い手



平成31年1月に、全国老人クラブ連合会が発行した小冊子、「組織活動は健康長寿の秘訣」の秘訣2に、「運動は仲間とすると健康にプラス」とあります。

体育事業部は、グラウンド・ゴルフとペタンクの大会を取りまとめることで、健康長寿に貢献しているとも言え、今年度の事業部関係者10名(部長1、理事3、委員6)も、やりがいを感じています。

各単位クラブで今一番盛んな運動は、グラウンド・ゴルフでしょう。名東区の区民祭り協賛事業としての区なごやか連グラウンド・ゴルフ



(田中 明夫)

大会は、今年は、5月13日、本郷公園で開催され、136名が参加しました。この大会での上位入賞者は、市なごやか連主催の大会に出場しませんでした。

毎年秋に区なごやか連が行う、もう一つの大会は、10月21日に計画されており、昨年度は、小雨の中の熱戦で、その大会の上位入賞者で編成したチームは、区対抗団体指導者戦で、準優勝の栄誉を受けました。

体育部が主催するもう一つの運動競技は、伝統のあるペタンク大会です。今年は、11月25日を予定しております。多い時には、24チームが覇を競いましたが、平成28年の大会はわずか14と、盛り上がりには欠けたので、区なごやか連を挙げて復活に取り組み、

平成29年20チーム、30年22チームでした。この競技は、カーリング並みの楽しさがあり、健康長寿に寄与すること疑いなしで、今年は、26チームを目指しています。

白区

びてんぱく

研修会と親睦旅行を 兼ねて信州大町へ



我が区老連年度末最後の行事は研修を兼ねた親睦旅行です。今年は2月21日〜22日と1泊2日で信州安曇野大町方面。駒ヶ根の養命酒工場と長野を代表する善光寺の旅です。

冬の信州：お天気は？との心配もありましたが、中央道を進んでいくとお天気の神様が

私たちにほほ笑んでくださり、真つ青な信州の空と白い雪を抱える中央北アルプスの尾根尾根の眺望：その素晴らしい景色に歓声を上げながら養命酒駒ヶ根工場に着きました。

さまの健康と幸せをお願いしておきました。その後は「そば打ち体験」です。説明を聞きながら、皆でそば粉をこね、丸めたり、平らにしたりと、「初めての体験で難しかった」「きしめんみたいになった」等々と体験についての相談。最後は不揃いながらも、お土産として持ち帰りました。

2日間とも最高の天気にも恵まれ、明日からのクラブ活動を、なおいっそう楽しもうと思える親睦旅行でした。

(北川 邦子)

養命酒は慶長7年(1602年)に信州伊那の谷・大草(現在の長野県上伊那郡中川村大草)の塩沢家当主、塩沢宗閑翁によって創製、4世紀にわたり休みなく造り続けられています。説明の後、林の中を散策し、爽やかな空気に包まれ、心も洗われるようでした。ホテルでは6時から懇親会です。歌声あり、踊りあり、最後は全員で炭鉱節を踊って散会となりました。

翌日も良い天気にも恵まれ、一路善光寺へ。クラブの皆様

